



<まとめとなる第4回定期試験、しっかりとした取り組みを>

今後の主な進路関係行事

【11月の予定】

- 3(土) 進研模試①
進研模試②
[~4(日)]
進研駿台マーク模試③
[~4(日)]
大学別模試③
[~4(日)]
- 8(木) 芸術文化祭
グランドステージ
- 10(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
大学別模試③
[~11(日)]
大学入学共通テスト
試行調査
- 16(金) サイエンスフォーラム②
科目登録締切①②
- 17(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 19(月) 試験時間割発表
- 27(火) 第4回定期試験
[~30(金)]

11月も半ばが過ぎ、日一日と寒さが増す季節となりました。来週(11月27日(火)~11月30日(金))は第4回定期試験が始まります。3年生にとっては、高校最後の定期試験となります。また、各教科・科目の今年1年の学習の評価もされることとなります。授業を中心とした学習は、基本をしっかりと作り上げるものです。ぜひ、学習に励み、土台作りを最後までしっかりとしたいと思います。1、2年生においても、今年のもめとして、来年に繋がる取り組みを期待します。

3年生の受験に向けての取り組みも、皮切りとなる一般推薦入試、AO入試等の出願も一段落となり、入試に向けての取り組みが本格的になってきています。第一志望合格を目指して、3年生一人ひとりの顔にも、たくましさが増してきたように思われます。そんな3年生に対して、本校では、学校をあげてのサポートを例年行っています。今年も、寸暇を惜しんでの指導が至る所で行われています。大変なこともあるかと思いますが、一つ一つをきちんとやり切るようにしてください。その一つ一つをやり切ることが力となります。そして、やってきた自分を信じて、自信を持って入試に臨んで欲しいと思います。健闘を祈っています。



<10月の進路行事から>

【12月の予定】

- 1(土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 3(月) 三者懇談期間③
[~14(金)]
- 7(金) プレ演③
- 8(土) プレ演③
土曜課外①
土曜講座①
修学旅行②
[~12(水)]
- 14(金) プレ演③
- 15(土) プレ演③
土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 17(月) 推薦合格者指導③
- 20(木) プレ演③
- 23(土) プレ演③
学研①
- 25(火) 終業式、大掃除
- 26(水) 冬季休業
[~1/6(日)]

※○数字は学年を示します

10月12日(金)の総合的な学習の時間において、3年生は進路講演会、2年生は職業人講話を行いました。3年生の進路講演会は、駿台予備校立川校校舎長吉井健二氏をお招きし、「センター試験まであと99日」という演題でお話をいただきました。センター試験では休み時間が長いのでその使い方や1日目教科の自己採点は、2日目の朝にはしない、第一志望合格には、基本を大切にすること、生活のリズムをキープすることそして、最後まで諦めないことなどセンター試験まで100日を切った3年生にとっては、大変有効な情報を得ることができたのではないのでしょうか。



2年生の職業人講話では、本校のOBでもある株式会社吉字屋本店代表取締役高野孫左エ門氏をお招きして「ライフプランニング力育成講座」というテーマでお話をいただきました。日本には、「老舗」と呼ばれる古くから創業している企業が多く、それは「継続を美德とする文化」であること、そして適応力、許容力、本業力、人間力の大切さを伝えてくれました。講演後生徒達からも、「やるかどうかが大切だ」、「人間力を磨くために普段から何にでも挑戦していく」といった感想が聞かれました。社会人としての姿勢、今後の生徒の自己実現、人生設計を考える機会として、大変有意義な講演会だったのではないのでしょうか。



〈大学入学共通テストについて〉

〈東進進学通信 Vol334〉より

「大学入学共通テスト」が2020年度（2021年1月）から実施され、現在の高校1年生から受験することになりますが、現行の大学入試に影響を与える可能性もありますので、受験生や高校2年生にも是非参考にしてもらいたいと思います。

○マークシート式問題の見直し

実施方針によると、マークシート式問題の見直しについては、「各教科・科目の特質に応じ、より思考力・判断力・表現力を重視した作問となるよう見直しを図る」としています。作問の工夫・改善については、次の留意点が挙げられます。

- ・ 出題者が問題文で示した流れに沿って解答するだけでなく、問題解決のプロセスを自ら選択しながら解答する部分が含まれるようにする。
- ・ 複数のテキストや資料を提示し、必要な情報を組み合わせ思考・判断させる
- ・ 分野の異なる複数の文章の深い内容を比較検討させる
- ・ 学んだ内容を日常生活と結びつけて考えさせる
- ・ 他の教科・科目や社会との関わりを意識した内容を取り入れる
- ・ 正解が1つに限られない問題とする
- ・ 選択式でありながら複数の段階にわたる判断を要する問題とする
- ・ 正解を選択肢の中から選ばせるのではなく必要な数値や記号等をマークさせる

○記述問題

記述問題については、共通テストの「国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学Ⅱ」において出題されます。マークシート式と併用で、一部で記述式問題が導入されます。

〈国語〉

「国語」の記述式問題の出題範囲は、古文漢文を除く「国語総合」から出題されます。評価すべき能力等については、「多様な文章や図表などをもとに、複数の情報を統合し構造化して考えをまとめたり、その過程や結果について、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価していきます。設問において一定の条件を設定し、それを踏まえ結論や結論に至るプロセス等を解答させる条件付記述式とし、特に『論理（情報と情報の関係性）の吟味・構築』や『情報を編集して文章にまとめること』に関わる能力の評価を重視する」としています。記述式問題の素材としては、次のような例が挙げられています。

- ・ 論理的な内容を題材にした説明、論説等
- ・ 新聞記事、社説、会議等の記録、実務的な文章（取扱説明書、報告書、提案書等）、契約書や法令の条文、公文書等
- ・ 統計資料（図表・グラフ等）を用いた説明等

記述問題の出題数等については、文字数80～120字程度で解答する問題も含めて3問出題されます。マークシート式問題と記述式問題の大問は分けて出題され、試験時間はマークシート式と合わせて100分程度としています。

〈数学〉

「数学」の記述式問題の出題科目は「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学Ⅱ」とし、出題範囲は「数学Ⅰ」の内容となっています。評価すべき能力等については、「図表やグラフ・文章などを用いて考えたことを数式などで表したり、問題解決の方略などを正しく書き表したりする力などを評価します。特に、『数学を活用した問題解決に向けて構想・見通しを立てること』に関わる能力の評価を重視する」としています。問題の素材例としては、

- ・ 数学的な事象を扱ったもの
- ・ 日常生活、社会事象を扱ったもの
- ・ 図表やグラフなどを用いて考えたことが解答の前提となる問題

が挙げられています。問題数は3問程度。大問の中にマークシート式問題と記述式問題を混在して出題し、試験時間はマークシート式と合わせて70分程度としています。

次回号では、「英語の4技能の評価には民間の英語資格・検定試験を活用」についての情報をお知らせします。



URL <https://www.kofuminami-h.ed.jp>
E-mail shinro@kofuminami-h.ed.jp

山梨県立甲府南高等学校
進路指導部